

事務局通信

一般社団法人鍼灸マッサージ師会事務局ニュースNo.73号

【発行】平成 22 年 1 月 5 日

住所 〒151-0053

東京都渋谷区代々木 2-24-7 代々木

グリーンハイム 210

TEL 03-3299-5276 FAX 03-3299-5275

一般社団法人 鍼灸マッサージ師会

koho-hoshinren@tulip.ocn.ne.jp

「医療を考える会」と協同で、積極的に行動しよう

代表理事 高橋養藏

新年あけまして、おめでとうございます。昨年も会員、理事、事務職員の皆様のご協力で、保険取り扱い額が着実に増えています。ありがとうございます。

さて、昨年の暮れに、選ばれた漢字は、「新」と言う字でした。確かに、国の政治も新しい政権が誕生しました。民主党のマニフェストに医療関連として「。。柔整、あはきなどを統合医療として、科学的根拠を確立する」ことを掲げています。はじめて、政党が政策に入れてくれたと言うことは、ありがたいことですが、まだ保険制度に組み入れられていない療法と同じレベルで検討してほしいと考えます。鍼灸、マッサージの治療は、療養費扱いとして保険が適用されています。患者が要望しているのは、受診を希望したら、かかりやすくしてほしいということです。

「新」と言えば、「保険者機能を推進する会」が結成され、民法上の委任払いをしないという動きが出てきました。しかし、毎年、発行されている「療養費の支給基準」平成 21 年度版では、「給付手続に際し、特別な場合を除いて患者（被保険者）の経済的負担等を考慮すれば、できる限り速やかに償還手続をすべきである。償還に際し、被保険者が当該施術に係る療養費の受取りを他の者に委任し、受取ることが可能である。」と明記しています。委任を拒否している保険者に委任を認めるよう積極的に働きかけましょう。

「新」しい情報として、兵庫県保険鍼灸、マッサージ師協同組合の会報で、保険関連の動きとして、医師の同意書が発行されても「前期治療」（医療先行）が、二週間位必要という保険者が出たというニュースです。このことも新しい動きとして注視しなければなりません。ご存知ない方もおられると思うので、少し振り返ってみます。平成 9 年に「150 号通知」が出されるまでは、同意書が発行されても、その前に医師の治療が 2 週間ないし 1 ヶ月必要ですと言って、治療を行ってもなかなか支払ってくれま

せんでした。

「150 号通知」を出させたのは、平成 2 年から平成 9 年にかけて、宇都宮市の患者さん、岸イヨさんが、「五十肩」の治療を受けて、療養費の支払いを請求したが、医師、柔整師には支払われたのに鍼灸治療に払われないのはおかしいと、訴訟を起こし裁判を行ったことによって、出させた通知です。この通知で、同意書が発行されたその日から治療ができ、「医療先行」を理由にした不支給がなくなりました。これを前にもどそうという動きにとれます。何故こうしたこと起こるかと言うと、「療養費の支給基準」に載っていますが、保険が適用されるのは「慢性病であって、医師の治療手段のないもの」という通知があるからです。誰が考えても理解できない通知です。この通知を無くし、逆行させないようにしましょう。

「新」というと、昨年は、神奈川県保険鍼灸、マッサージ協同組合も新しい事務所をかまえて、スタートしました。会の益々の発展を祈念します。当会も新しい団体名で、NPO 医療を考える会と協同して、都議会議員の紹介で東京都への要請、衆議院議員を通じて、厚生労働省への要請をおこないました。

今年も、民法上の委任拒否を無くすこと、医師との協同を妨げている「併給禁止」の通知の撤廃、労災で認めている世間なみの治療料金の実現などをめざし、NPO 医療を考える会との協同。他団体とも協力して、積極的に行動しましょう。



会員の皆様

「明るいきざしが見えてきた」

あけましておめでとうございます。



漢方祥雲堂
橋本利治

昨年は長期政権であった自民党政権も終わり新しい民主党政権に代わりました。

派遣切り、増税、国民無視の米軍基地など生活はどんどん閉塞状況に至っています。

このような状況の中で何かを変えたいという選択であったのではないのでしょうか。

私たち国民は閉塞状況を変えたいと思っているのだがどの様に変えるのかまではビジョンをもっていない。マニフェストとして提出された民主党のビジョンも産みの苦しみとでも言いますように、苦しんでおるようです。

今だからこそ私たちは医療の分野において声を上げて訴える必要があるのではないのでしょうか。会員の皆様のご協力により東洋医学を国民の生活に密着した医療へと盛り上げていきたいと思えます。今年はそんな年であって欲しいと願っております。

本年も「人生は七三(なみ)」でいきます

真船 洋二

『人生は七三』七は仕事、三は余暇、趣味などを含めた心の余裕。『七三(なみ)』は、全体を十とした場合のバランスの比率を、わかりやすく表している。これは心豊かな、奥行きのある、味わい深い人生を歩むための指針となる言葉だ。自動車や自転車などの動力制御装置には、すべて“遊び”(遊びがなければ急ブレーキにより転倒する)があるように、人生においても“遊び”に相当する「心の余裕」が必要なのである。四角四面な真面目だけで貫くと、とかく人間関係において窮屈になり角が立つ。その一方、わずかな“遊び心(心の余裕)”が、気まずい関係を明るくしたり、打ちとけたり、笑いを誘い出したりする潤滑油となる。本年も、日々努力する一方、心には余裕をもっていく『人生は七三』の一年でありたい。



田中 榮子

明けましておめでとうございます。いつも大変お世話になります。自分の仕事では、昨年度も人の誕生から終末期まで私なりに治療をさせてもらいました。出産間近のOさん、逆子で不安いっぱいです。鍼灸治療で正常位にもどると、張り切ってお産に向かう。そのニコやかな笑顔を見て、嬉しくなる自分。しかし、女性の妊娠、出産、産褥に関する鍼灸、そして、小児治療も健康保険は適用外です。

私たちの治療で、この世に無事生命が生まれ出される、また、病気が回復して明るくなっていきます。

健康保険料を、国民は文句も言わず払っています。それなのに、東洋医学系、鍼灸・マッサージ治療へは、国は差別を続けています。私たちは難しいことを要求しているではありません。かかりたい医療に、気兼ねなくかかれるようにしてほしい。法治国家では当然のことです。昨年の総選挙で政権が交代しました。人間を大切にする政治は行く手を明るくしてくれます。「医療制度の中に、正当に鍼灸・マッサージ治療を位置付ける」はっきりした道筋がつくまで、私たちは辛抱強く、働きがけを続けていきましょう。

この会には、優秀で行動力のある若手の会員さんが多くいます。今年はそういう皆さんに大いに期待しています。



「謹んで新春をお祝い申し上げます」

平成22年 元旦

坂井貴弘

会員の皆様お健やかに佳き新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年中はご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

2009年今年の漢字は「新」でした。政権交代で新しい内閣が発足し、政策、行政が刷新、さまざまな「新しいこと」を期待した世相が反映されたということでした。

新しくなるということは、「変わる」ということでもあり、それは私たちにとって必ずしも望むことではないかも知れません。しかし、想いを一点に集約できれば望んでいない変化も、それを皮切

りに私たちが望む新しい形に変えられることと信じております。

今年は当会も役員改選の年です。これから更なる飛躍を成すためには、何としても同じ想いを持つ人の力が必要です。活気溢れる会を作るために皆様の参加をお願い申し上げます。

結びになります。本年も皆様が御健勝で御多幸でありますよう、心からお祈り申し上げます。



「新年 おめでとうございます」

荒木 昌子

世界の情勢は、増々不安定になっています。今年は、その真相を私なりに知りたい。仕事では、患者さんの立場に立ち寄り、手助け出来ればと思っております。今年も新年を迎えられた事に感謝しています。会運営も、沢山の会員の方々の参加をお待ちしております。固く考えずに会主催のいろいろな勉強会に参加して頂ければ、よく理解できると思います。と同時に会員同士の交流もできますので、皆様のご参加をお待ちしております。本年も、どうぞよろしく願いいたします。

「医療のあり方が問われている時代」

久下 勝通

昨年11月23日にNHK放送で「がん 生と死の謎に望む 立花 隆」が放映され、運良くこの放映を見ることができました。2年前に膀胱がんの診断を受けて治療を続けている評論家の立花隆氏が、がんとは何かを究明するため、がん研究の最先端で活躍する世界の科学者をインタビューした報告でした。

何人もの科学者が、いろいろな側面から癌の研究の現状を報告していましたが、いずれの報告も、癌細胞は正常細胞から発生し、正常細胞と同様の能力をもっており、癌細胞だけを殺傷することは困難であるとの発言でした。

癌細胞の生命力

私がとくに注目したのは、二人の研究者の発言です。

一人は、ジョン・ホプキンス大学のセメンザ教授です。癌細胞が増殖し大きくなると中心の部分は、低酸素となり細胞が生きていくのに過酷な状況となる。がん細胞はこの状況の中で、生きていくための遺伝子 HIF - 1 を発現させることができる。HIF - 1 を発現させると低酸素で生きるだけでなく移動能力も優れた状況となり、転移し増殖していく。

この遺伝子 HIF - 1 は、動物が低酸素で生きていくためには重要な遺伝子で、生命が進化の過程で保存されてきた遺伝子であり、人間の初期胎児も低酸素で生きるため HIF - 1 を発現する。癌細胞は生命が生き抜くために獲得してきた遺伝子を引き継いでいる。

もう一人は、京都大学の中山教授です。中山教授は癌幹細胞について発言しています。

癌細胞の増殖は癌幹細胞によって進められる。これは正常細胞も同様で幹細胞が増殖の役割を果たしている。抗癌剤で癌細胞を攻撃しても癌幹細胞を殺傷することはできない。この特別な能力のある癌幹細胞は、正常幹細胞と同じような能力があり、癌幹細胞を叩くことは正常幹細胞を叩くこととなり、身体に危険をあたえることになる。



癌と付き合い最後までしっかり生きる

取材を通じての立花氏の見解は、癌は生命進化の一つの結果であり、生命そのものがはらんでいく、一つの避けられない運命ではないかと考える。僕が生きている間に人類ががんを医学的に克服することはないだろう。自分がそう遠くない時期に死ぬだろうが、それが分かったところで、じたばたしないで済む、と述べています。

放映では終末医療の一つのあり方として、鳥取県の「野の花診療所」の診療風景が紹介されました。徳永進医師が19床の診療所と往診で、多くの癌患者をみています。末期がん患者が入院しているが、ほとんど往診で患者をみているということです。

往診に同行し患者の姿にふれた立花氏は、徳永さんへの取材を通じて学んだのは、人間は誰でも

死ぬ力を持っているということだ。ちょっと言い過ぎかもしれない。死ぬまで生きる力を持っていると言った方がいいかもしれない。そういう単純なことに気づき、死ぬまでしっかり生きることが大切なのではないか。がんどこかで折り合いをつけなければならない。僕の場合、QOLを下げずにしっかり生きることだ。と述べています。

患者を支える医療は患者が選べる医療

一般には NHK の放映でもなければこのような情報は伝わりません。日々つたわるのは「癌も早期発見で治る」「抗がん剤治療もここまで進歩した」などなど一方的な情報です。癌と闘う路線に沿い、早期検診から手術あるいは抗癌剤治療へルールが敷かれて、このルールに沿った範囲の情報が与えられ、健康保険での治療が認められるのが日本の医療の現状です。

高齢化がすすむとともに癌は増加の一途です。癌と折り合いをつける生き方も認められるべきです。

患者ががんと折り合いをつけ、死ぬまでしっかり生きる道を選んだときに、患者を支える医療や介護の保障が大切です。しかし、ホスピスを選んだ場合、鍼灸治療、あん摩マッサージ指圧師の治療を選べば自費です。安部新潟大学教授が提唱している免疫療法を選んでも健康保険では認めません。患者が必要な情報を手にして、必要な治療を選べる医療へ転換が求められます。高齢化社会を支える人間的な医療は、患者が選べる医療への転換がなければならないことを強く感じました。



「医療差別根絶に向けて」

事務局長 清水一雄

新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

20数年前に任意団体として東京都保険鍼灸マッサージ師会が誕生し、法人格を取得して6年が経過し、名称も東京都を無くして東京のみというイメージを変え、着実に発展していることは真に喜ばしいことです。

設立時から会が目標としているのは「医療差別

の根絶」に向けて、国民誰しも鍼灸師、あんまマッサージ指圧師の医療を法の元平等に受診出来るようにしていくことです。

療養費申請等で問題に出会った時、問題意識を持たないとそのまま見過ごしてしまいますが、問題視していけば差別の数々が見えてきます。

一人でも多くの方がそれに気づいていくことが問題改善に繋がっていきます。その為にも我々自らを「医業類似行為者」と思っているのであれば、その認識を変えることだと思います。

「類似」とは「似かよう」ことであり、鍼灸師、あんまマッサージ指圧師の資格を持たずにそのまがいの行為をするのであれば、「医業類似行為」というのであって、我々の業は医業でありその資格の元において専門医療家であります。

残念ながら医療行政に携わっている人達はこのような解釈をしていない人が多いようです。

まずは我々から認識を深めていくことが重要だと思います。今年も自己啓発につながるような学習会等企画していきますので、皆で高めていきましょう。

あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。
事務局職員一同





会員各位

「療養費ソフト」 インターネットによるバージョンアップ

一時使用停止のお願い

H22年1月 事務局

1月より、療養費ソフトのインターネットサーバを新サーバへ移行します。
 そのため、移行時の不具合を避けるため、インターネットによるバージョンアップのサービスを一時停止しますのでご了承ください。

バージョンアップの操作をこの期間には使用しない様お願いします。

(申請書作成に支障をきたす可能性があります)

サービス停止期間：平成 22 年 1 月 18 日(月) ~ 3 月初旬

3月初旬には、新バージョン用として再開しますので、療養費ソフトのバージョンアップと合わせて利用開始日を別途ご案内します。

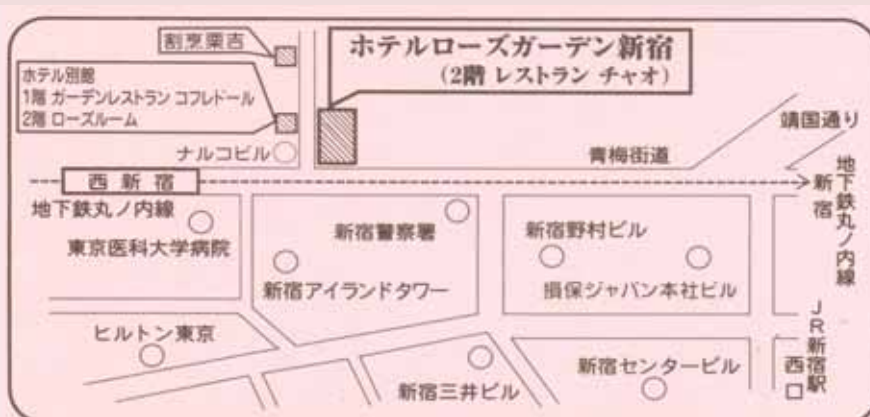
新年会

<日時> 平成 22 年 1 月 17 日(日) 12:00~

<場所> ホテルローズガーデン新宿 2F

レストラン「チャオ」

<会費> 4000 円



<最寄駅>

- 地下鉄丸ノ内線「西新宿」駅(1番出口)徒歩1分
- JR・京王線・小田急線「新宿駅」徒歩10分
- 駐車場はございません

ホテルローズガーデン新宿

〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-1-3
 TEL.03-3360-1533
 FAX.03-3360-1633



“おったまげ” 成長するとじやまものと拒絶

新聞の科学覧に掲載されていた内容に「オタマジャクシ」

のしっぽが消えるわけが新潟大学の井筒ゆみ助教たちの研究チームが解明。

尾の消失の遺伝子を突き止めることに成功した。カエルの免疫システムが幼生型から成体型に転換し、幼生型の尾が異物として拒絶され消失するとあった。 うん？そうか！

昨年半世紀も続いた保守政権が崩壊し、日本も国民がこれを拒絶した結果新しい政権が誕生した。期待にわくわくした。ところがこの政権ふるい保守政権を渡り歩いていた方々もいてオタマジャクシの尾っぽになってフラフラ 国民の願いが見えないようだ。

しかし、国民の声に異物はやがて拒絶されしっかりした足も手もあるカエルに成長することを期待して国民の声を大きくしていこう！

今年も「会」の発展を願って事務局一丸となつてがんばりたいと思います。ご指導ご協力よろしくをお願いします。

2010年1月元旦 山口充子

あけましておめでとうございます。

今年も”事務処理は丁寧に間違いなく処理する”ことをモットーで仕事をします。

私は長年コンピュータのエンジニアをやっていたので鍼灸/マッサージは素人ですが、今までの経験を少しでも、皆様の申請書作成に関する事務処理軽減を中心に役立てるように努めます。

ご要望やご相談があれば、一緒に検討させていただきます。できることから少しずつでも改善させていただければと思います。 高橋 博



昨年6月に仲間入りをさせて頂きました。今年はいくつかでも戦力になれるようにガンバリたいと思っていますので、よろしくお願い申し上げます。 鈴木



あけましておめでとうございます。

事務局の一員として主に療養費申請書審査や経理、居宅介護のケアマネさんのお手伝い等仕事をさせて頂いておりました。仕事を進めていく上で分からないこと、知らないこと新たな発見も多々あり、日々勉強する機会に恵まれたことは有難いことだと常々感じております。

会員の皆さんが業務、円滑な保険取扱を進められるよう事務を携わる者として責任の持てる仕事を心掛けていきたいと思っています。

また残念なことに知らない会員さんも多く、お忙しいとは思いますが、

もっと事務所に足を運んでいただき事務職員とコミュニケーションしていただければと思います。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

清水明見



先生方の申請書が問題なく保険者に通り、入金までスムーズにゆくよう、日々の実務に気合を入れたいと思います。本年もよろしくお願い申し上げます。

斎藤

事務局にお世話になって、あっという間の半年でした。まだまだ未熟ですが少しでもお役に立てるよう勤めていきたいと思っております。今年もよろしくお願い申し上げます。 小林



新しく事務局に入りました。みなさんにいろいろ教えていただきながら成長していけたらと思っております。よろしくお願い申し上げます。 安田





脳症にならないための「くすりの説明書」

インフルエンザ(2009年型 H1N1)とタミフル
タミフル使いすぎ 服用後の突然死

第6回医薬ビジネスセミナーから

- ・ワクチンの効果と害
- ・迅速検査キットは役に立つか？

インフルエンザ報道に冷静さと論理を

インフルエンザ・ワクチンにご用心
放射線専門医の立場から

インフルエンザの治療や防止のため、タミフルやワクチンの使用が、国によるおおがりにな宣伝ですすめられています。インフルエンザの治療は、タミフル以外にないような報道が毎日ながされています。

しかし、薬の使いすぎ、その副作用に警鐘を鳴らす医師がいます。タミフルの使いすぎが状況を悪化させている「インフルエンザもかぜであり、基本は暖かく安静に」と指摘しています。

薬のチェックは命のチェック 36号の特集「インフルエンザはかぜ！ ワクチンもタミフルもいらない」をご覧ください。NPO 法人医薬ビジランスセンターが発行している書籍です。

目次

特集 インフルエンザはかぜ！

座談会：「新型」インフルエンザとタミフル
くすりが被害を広げている

20世紀の新薬アスピリン、21世紀の新薬タミフル

「寝たきりの人を立ちなおらせて」

【在宅学習会・2010年2月のお知らせ】

年も改まり、寒い日も続きますが、皆様新たなお気持ちでお暮らしのことでしょう。2月の学習会は、寝たきりだった人を立ちなおらせた症例、実技等、下記のように計画しました。

お誘いあわせてご参加ください。

参加費 : 会員 無料

日時 : 2010年2月7日(日)
13時30分～16時30分

会場 : 中野区勤労福祉会館(下記略図参照)
JR中央線中野駅南口より4分



内容 : 寝たきりの高齢者を回復へ向かわせた症例
お灸とオイルマッサージを用いて
実技。マッサージ、リハビリ法

松尾洋子氏

清水一雄氏他

